

第1回定例会 予算決算委員会（全体会） 会議録

=====
日 時 令和7年3月12日（水曜日）
午後2時27分開会、午後3時2分閉会
場 所 第1委員会室

日 程

- 1 開 会
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 審査内容
議案第40号 令和6年度土浦市一般会計補正予算(第7回)について
～一般会計歳入全部
 - 4 閉 会
-

出席委員（23名）

委員長	平石	勝司
副委員長	矢口	勝雄
委 員	竹内	裕
委 員	寺内	充
委 員	古沢	喜幸
委 員	吉田	千鶴子
委 員	海老原	一郎
委 員	篠塚	昌毅
委 員	鈴木	一彦
委 員	下村	壽郎
委 員	今野	貴子
委 員	島岡	宏明
委 員	勝田	達也
委 員	目黒	英一
委 員	奥谷	崇
委 員	福田	勝夫
委 員	平岡	房子
委 員	根本	法子
委 員	田中	義法
委 員	滝田	賢治
委 員	吉田	直起
委 員	菅井	歩美

委員 柳澤 健二

欠席委員（1名）

委員 小坂 博

説明のため出席した者（12名）

市長公室長	山口 正通
総務部長	塚本 哲生
市民生活部長	水田 和広
保健福祉部長	羽生 元幸
こども未来部長	真家 達成
産業経済部長	塚本 隆行
都市政策部長	飯泉 貴史
建設部長	渡辺 善弘
教育部長	加藤 史子
消防長	檜山 保明
議会事務局長	櫻井 良哉
財政課長	瀬古澤 時人

事務局職員出席

次長	元川 宏
次長補佐	小野 聡
主査	津久井 麻美子
主幹	高橋 陽平
主事	古宮 英剛

傍聴者（0名）

○平石委員長 ただ今から、予算決算委員会を開会いたします。本日は、本定例会において、当予算決算委員会へ付託されました議案第40号、令和6年度土浦市一般会計補正予算（第7回）のうち、歳入等についての審査を行います。この全体会での質疑は、「歳入及び地方債補正についての質疑のみ」をお願いいたします。歳出については、分科会において審査をお願いいたします。また分科会終了後、再度、全体会を開催し、予算決算委員会としての結論をまとめますので、よろしくをお願いいたします。早速ですが審査に入ります。「サイドブックス」、「本会議」、「令和7年」、「第1回定例会」、「事前配付資料」、

「議案第40号から46号」を御準備願います。それでは、議案第40号令和5年度土浦市一般会計補正予算（第7回）第1表歳入歳出予算補正歳入全部、第5表地方債補正を議題といたします。執行部より説明願います。

○瀬古澤財政課長 私のほうからは、今回の補正予算の歳入及び地方債補正について説明させていただきます。議案書の4ページをお願いいたします。第1表歳入歳出予算補正の歳入でございます。今回の歳入の補正予算につきましては、当初予算に見込めなかった事業費の財源や、例年、3月の定例会に計上させていただいております、決算見込み等に伴う増額、減額を計上するもので、主なところを申し上げますと、歳入合計欄にございますとおり、9億5,736万2,000円を増額し、総額を626億9,687万9,000円とするものです。それでは、具体的な内容につきまして御説明いたしますので、13ページをお願いいたします。1款市税につきましては、決算見込みに基づき計上するもので、市税全体では現予算と比べ、3,906万3,000円、0.2%の減とするものです。1項市民税は、合計欄の補正額にございますように、1億518万8,000円を減額計上し、1.0%減とするものです。このうち、1目個人市民税は、現年課税分、滞納繰越分合わせて1億7,430万9,000円、2.2%の増。2目法人市民税は、2億7,949万7,000円、10.0%の減となり、物価高騰に対する賃上げなどによる給与所得の増から個人市民税は伸びる見込みですが、法人市民税については当初の想定より、業績が伸びず、予算を下回る見込みでの減となっております。2項固定資産税1目固定資産税は、2,679万7,000円、0.3%の増。2目国有資産等所在市町村交付金は、260万1,000円、4.6%の減となっており、こちらは前年度の交付額について県で算定誤りがあり過大交付してしまったとのことで、今年度分での相殺とのことでの減となっております。3項軽自動車税は、登録台数の増加などにより876万8,000円、2.1%の増となっております。このうち、1目環境性能割は、軽自動車の取得時に環境性能に応じて課税されるもので、登録台数の増加による増。2目種別割は、従来の軽自動車税にあたるもので、こちらも登録台数の増加により増。3目軽自動車税は、種別割に名称変更される以前の軽自動車税の滞納分であり、実績見込みにより、減となっております。4項たばこ税は、売渡本数が当初の見込みほど減少しなかったことにより、3,037万1,000円、2.5%の増。5項都市計画税は、2,790,000円、0.2%の増となっております。14ページをお願いします。つづきまして、3款の利子割交付金から、12款地方交付税までは、決算額や県からの決算見込み

額の通知などにより、増減をするものです。3款利子割交付金は、4,579,000円、35.3%の減。6款法人事業税交付金は、1億3,697万2,000円、21.1%の減。7款地方消費税交付金は、32,982,000円、0.9%の増。11款地方特例交付金1項地方特例交付金は、住宅取得控除に係る減収分に対するものと、今年度の定額減税減収補てん分であり、合わせて2,772万3,000円、3.7%の増。2項新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも中小事業者等が行う生産性の向上に資する新規の設備投資に対し、固定資産税を3年間ゼロとする特例措置に係る減収分に対するものであり、188万2,000円、13.0%の増。12款地方交付税1項地方交付税は、普通交付税の増により、3億3,8703,000円、6.9%の増。15ページをお願いいたします。つづきまして、14款分担金及び負担金1項負担金、3目土木費負担金につきましては、市道I級42号線、田村沖宿線延伸道路整備事業に係る事業費の確定に伴い、かすみがうら市からの負担金を、1,781,000円を減額計上するものです。16款国庫支出金につきましても、事業費の決算見込みに基づき、全体では、293,779,000円を減額するものです。このうち、1項国庫負担金につきましては、合計欄の補正額にございますように、1億2,589万6,000円を増額計上するものです。1目民生費国庫負担金、3節障害者自立支援給付費負担金は、障害福祉サービス利用に係る給付に対する国の負担金で、サービス利用者の増に伴う増額計上。8節生活保護費負担金は、令和5年度の生活保護費に係る追加交付による増額計上。9節国民健康保険事業費負担金、1項目め保険基盤安定負担金（保険者支援分）は、国保の安定を図るための、保険料軽減者数に応じた国からの負担金の増額計上。2項目め保険基盤安定負担金は、未就学児に係る均等割保険料の軽減分に対する国の負担金の減額計上。3項目め産前産後保険料負担金は、国民健康保険の被保険者に係る産前産後期間相当分の保険料の免除分に対する国の負担金の減額計上。10節介護保険事業費負担金は、低所得者の保険料の軽減を図るための軽減分に対する国の負担金の増額計上。16款国庫支出金2項国庫補助金につきましても、16ページの合計欄の補正額にございますように、2億1,296万7,000円を減額計上するものです。15ページにお戻りいただいて、1目総務費国庫補助金、1節総務費補助金は、1項目め、社会保障・税番号制度システム整備費補助金は、戸籍に氏名の振り仮名を追加する事業に係る確認通知書に充当されるもので、増額計上。2項目めは、空家バンク登録物件を購入した空家のリフォーム費用への一部助成で、執行がなかったことなどによる減額計上。2目民生費国庫補助金、2節生活困窮者就労準備支援事業費等補助金は、生活保護に係るレセプト点検など、生活保護の適正化などに対する補助金で、令和5年度事業分の清算による追加交付に伴う増額計上。4節ひとり親世帯対策総合支援事業費補助金は、就職支援のための資格取得に係る費用への補助金であり、対象世帯の所得により、支給額が想定よりも少なかったことに伴う減額計上。5目土木費国庫補助金、1節道路橋梁費補助金の1項目め道路新設改良事業都市構造再編集中支援事業費補助金は、市道I級22号線、荒川沖木田余線の歩道のバリアフリー化に対する補助金、2項目めの橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業費、その下の橋梁定期

点検事業費道路メンテナンス事業費補助金は、それぞれ、国の交付決定額に伴う、減額計上。2節都市計画費補助金、1項目め荒川沖木田余線整備事業費の補助金は、追加交付があったことによる増額計上。2項目めの、まちなか定住促進事業費の補助金は、市外から中心市街地に転入した者への家賃補助や住宅購入の借入金への補助、その他、中心市街地に賃貸住宅を建設するための整備補助で、賃貸住宅整備の実績に伴う減額計上。地域防災拠点建築物整備緊急促進事業費補助金は、緊急輸送路に係る避難路沿道建築物に指定された建築物の耐震診断に対する国からの補助金で、執行がなかったことに伴う減額計上。7目教育費国庫補助金の、2節小学校費補助金は、菅谷小における通学バスの運行経費に対する補助金で、当初の見込みよりも利用生徒数が増になったことに伴う増額計上。16ページをお願いします。16款国庫支出金4項国庫交付金つきましては、一番下の合計欄の補正額にございますように、2億670万8,000円を減額計上するものです。1目総務費国庫交付金、1節総務費交付金の1項目め地域女性活躍推進交付金は、社会的に孤立し、困難や不安を抱える女性へのきめ細やかな支援を行う「女性のための寄り添い支援事業」や、「女性デジタル人材育成セミナー」に当たる交付金ですが、国の交付額決定による減額計上。2項目め賦課費重点支援地方交付金は、令和6年6月に補正計上した、今年度の物価高騰対策、国の定額減税において定額減税をしきれないと見込まれる家庭に対しての給付金事業に充当されるもので、給付実績に伴う減額計上。2目民生費国庫交付金、1節社会福祉費交付金は、物価高騰に対応する国の経済対策により、住民税非課税世帯などに支給した給付金支給事業に当たるもので、給付実績に伴う減額計上。3節老人福祉費交付金は、多様な事業主体と連携し、高齢者の生活支援サービスを創出する「生活支援体制整備事業」の令和5年度の事業実績に伴う追加交付による、増額計上。4節児童福祉費交付金は、民間保育所等への給付費について、公定価格が増額となったことに伴う、交付金の増額計上。3目商工費国庫交付金は、地域活性化に資する、地域の人材・資源・資金を活用した新たな事業を立ち上げようとする民間事業者に、初期投資費用を支援する事業に対する交付金で、事業費確定に伴う減額計上。6目土木費国庫交付金、1節道路橋梁費交付金の、1項目めは、道路の舗装打替などの維持補修費に対するもの、2項目めは、街路樹に被害を及ぼしている特定外来生物の分布の拡大を抑制するため、被害木材を伐採するための費用に対する環境省からの交付金で、それぞれ、国の交付決定額に伴う減額計上。3節都市計画費交付金は、いずれも今年度の事業費の実績や交付額の確定に伴う減額計上です。7目教育費国庫交付金、2節小学校費交付金は、下高津小学校特別教室等エアコン更新工事、乙戸小の校舎棟・屋内運動場長寿命化改良工事、3節中学校費交付金は、土浦五中特別教室等のエアコン更新工事で、これらの事業については、国の補正予算に伴い、前倒しで今回の補正予算に事業費を計上しており、その財源として、国庫交付金を計上するものです。つきまして、17款県支出金につきましては、全体では、3,546万9,000円の増となっております。国庫支出金と同様の内容のものなどについては割愛し、主なものについて説明させていただきます。1項県負担金につきましては、17ページの合計欄の補正額にございますように、1億305万6,000円を増額計上するものです。16ペ

ージに戻っていただきまして、1目民生費県負担金、8節国民健康保険事業費負担金の1項目め保険基盤安定負担金（保険税軽減分）は、低所得の被保険者の保険料軽減分に対する県の負担金で、決算見込みに伴う増額計上。9節後期高齢者医療事業費負担金の1項目め保険基盤安定負担金（低所得の保険料軽減分）は、国保と同じく保険料軽減分に対する県の負担金で、減額計上。17ページに移りまして、2項目め被用者保険被扶養者の保険料軽減分は、被用者保険の被扶養者が後期高齢者医療制度に加入した場合の保険料の軽減分に対する県の負担金で、こちらは増額計上となっています。3目土木費県負担金につきましては、烏山地区の地籍調査に対する負担金で、交付額の決定に伴い、減額計上するものです。2項県補助金につきましては、合計欄の補正額にございますように、4,209万7,000円を減額計上するものです。2目民生費県補助金5節児童福祉費補助金の1項目め、子どものための教育・保育給付費地方単独費用補助金は、私立の幼稚園、認定こども園への施設型給付費に対する補助金で、決算見込みに伴う減額計上。2項目め放課後子供教室推進事業費補助金は、補助対象教室数の修正に伴う増額計上とするものです。3目衛生費県補助金、4節合併処理浄化槽設置事業費補助金は、通常分と県の上乗せ分である森林湖沼環境税分。5節単独処理浄化槽等撤去事業費補助金は、森林湖沼環境税分で、いずれも、実績に応じて減額計上するものです。4目農林水産業費県補助金、1節農業費補助金の説明欄、1項目め経営所得安定対策等推進事業費補助金は、経営所得安定対策制度の普及推進活動や制度加入に係る事務手続き等について支援するため、農林水産課に事務局がある土浦市農業再生協議会に対する補助金。2項目め新規就農者育成総合対策補助金は、次代を担う農業者に対する就農前の研修費用、機械や施設等の導入費用、経営開始資金などの助成に対する補助金で、いずれも今年度の実績に伴い減額計上するものです。7目教育費県補助金まで飛びまして、4節部活動指導員配置事業費補助金は、部活動の円滑な運営及び教員の働き方改革の実現を図るため、中学校において専門的な知識や技能を有する部活動指導員を配置する事業に対する補助金で、指導員の活動実績に伴う減額計上。6節校内フリースクール設置促進事業費補助金は、不登校生徒の学校における居場所づくりとして、教室復帰へのきっかけづくりを行うため、市内公立中学校に設置する校内フリースクールに、新規に支援員を配置する事業に対する今年度からの補助金で、一部支援員の配置時期が想定より遅れが生じたこともあり減額計上となっています。つづきまして、3項県委託金は、合計欄の補正額にございますように、670万5,000円を減額計上するものです。1目総務費県委託金、2節選挙費委託金は、昨年10月27日に行われた、衆議院解散に伴う総選挙の投開票事務経費に対する委託金で、事業費の確定による減額計上でございます。18ページをお願いします。4項県交付金は、合計欄の補正額にございますように、1,878万5,000円を減額計上するものです。4目農林水産業費県交付金、1節農業費交付金については、これらはいずれも、実績や交付額の確定に伴い、減額計上するものです。18款財産収入につきましては、全体では、4億4,791万3,000円を増額するものです。1項財産運用収入、2目利子及び配当金につきましては、説明欄記載の今年度の各基金の利子、1,141万4,000円の増額計上。2項財産売却

収入は、2目不動産売払収入でございまして、今年度に売却しました、滝田一丁目を始めとする、6か所の市有地の売払収入などで、合計で4億3,649万9,000円の増額計上となっております。19款寄附金1項寄附金につきましては、合計欄にありますとおり2,202万3,000円を増額計上するものです。1目ふるさと土浦応援寄附金は、企業版ふるさと納税1件分で、産学官連携によるプロジェクト研究事業に対する寄附としての増額計上。2目民生費寄附金は、福祉目的として、団体などからの寄附、4件分。4目総務費寄附金は、個人から1件。7目教育費寄付金は、教育目的として、団体からの寄附、1件分を計上するものです。19ページをお願いします。20款繰入金2項基金繰入金につきましては、合計欄にありますように、3億8,481万1,000円を増額計上するものです。1目財政調整基金繰入金は、今回の補正では、歳出が歳入を上回っていることから、財源不足を補うための財政調整基金からの繰入金を増額計上するものです。3目協働のまちづくり基金繰入金は、市民提案型のハード事業、歴史的建造物等の保存・修景事業において、活用事業がなかったことから、基金からの繰入金を減額計上するものです。6目文化振興基金繰入金は、事業の財源に活用するための取崩しによる、増額計上。7目森林環境譲与税基金繰入金は、決算見込みに伴い減額計上するものです。3項貸付金元利収入、1目貸付金元利収入は、優良種苗導入資金の融資の申し込みがなかったことに伴い、市からの歳出である貸付金を減額し、合わせて元利収入も同額の1,467万6,000円を減額計上するものです。22款諸収入5項雑入につきましては、3,290万9,000円を増額計上するものです。1目雑入、5節指定管理者納付金は、自転車駐車場の指定管理者であるシルバー人材センターからの、協定に基づく納付金で、物価高騰による経費の増加や最低賃金の上昇などに伴う減額計上。7節雑入の1項目め、後期高齢者健康診査業務委託金は、後期高齢者の人間ドック等の受診者の増に伴う増額計上。2項目めコミュニティ事業助成金は、宝くじを活用した、財団法人自治総合センターからの助成金で、町内会活動に要する備品等の整備に充てられますが、2件申請し採択が1件だったことに伴う、減額計上。3項目め、対等相互交流職員等人件費繰入金は、消防本部における、かすみがうら市との人事交流に伴い、かすみがうら市が負担する、本市からの派遣職員に係る人件費分を計上。4項目め多面的機能支払交付金返還金（過年度分）は、令和5年度に受けた交付金の一部返還が生じまして、その対象となった交付団体からの市への返納分を計上。5項目め市町村振興宝くじ交付金は、ハロウィンジャンボ宝くじの収益が配分される、宝くじ交付金の計上。5項目め宿舍使用料は、昨年6月に退任した片山副市長の宿舍家賃費用等の減額計上。6項目め福島原子力発電所事故に伴う損害賠償金は、市内で駆除するイノシシについては市場に売りさばいておりますが、東日本大震災の原発事故の影響により売れなくなってしまったことによる、東京電力からの補償分としての計上。7項目め経営継承・発展等支援事業補助金は、当がなかったことに伴う減額計上。8項目め後期高齢者医療療養給付費負担金精算金は、令和5年度事業の額の確定に伴う、精算金の計上。9項目め川口運動公園駐車場損失補償金については、実際には荒川沖木田余線の拡幅に伴い、川口運動公園の一部土地を県に売却するもので、先ほど説明しました財産収入の中での計上

したための減額計上。23款市債、1項市債につきましては、20ページの合計欄の補正額にございますように、1億2,379万7,000円を増額計上するものです。19ページに戻っていただきまして、市債は、説明欄記載事業の事業費の確定などに伴う減額計上が多数を占めておりますが、このほかでは、2目農林水産業費債、1節農地費債の説明欄、1項目めは、木田余地区の排水路整備、2項目めは、沢辺堰地区のゲート修繕、20ページに移っていただきまして、5目教育費債、3節学校施設整備費債は、下高津小特別教室等エアコン更新工事、乙戸小学校の校舎及び屋内運動場の長寿命化改良工事、土浦五中特別教室等エアコン更新工事、これらの事業が、国の補正予算に伴い、令和6年度に前倒しされたことに伴い、その財源として市債を計上するものです。6目臨時財政対策債は、一般財源不足に対処するため発行が認められている地方債で、今年度の算定結果に伴い、減額計上するものです。歳入は、以上でございます。つづきまして、10ページにお戻りください。第5表地方債補正です。先ほど、地方債の補正予算について説明させていただきましたが、上の段、追加分といたしまして、各学校施設整備事業に充当するための地方債を5億180万円追加し、下の段、変更分といたしまして、起債の目的欄に記載された各事業等に充当する地方債を、補正後の限度額の合計欄にございますように、5億5,939万3,000円に変更し、その下の予算額計の欄にございますように、発行限度額を26億4,499万3,000円とするものです。議案第40号土浦市一般会計補正予算（第7回）の歳入予算補正、地方債補正の説明につきましては、以上でございます。

○平石委員長 それでは委員の皆様から御質問等ございますでしょうか。

○篠塚委員 雑収入のですね、福島県原子力発電事項損害賠償なんですけど、これイノシシを土浦で捕った場合に販売できないから、その分の補償金ということで、これいつまで続くんですかね。イノシシを捕った場合に、放射線量を測って売却ができないというので申請して入ってくるようなお金なんですか。

○坂本農林水産課長 ただ今篠塚委員からの御質問についてですが、イノシシの損害賠償補償につきましては、委員おっしゃるように毎年販売ができないということで、その分、100頭から150頭の間で毎年請求しております。毎年の交渉の中では、とりあえず放射線数値が高い間は、今のところ東電のほうでは面倒見ようという動きになってますが、一応東京電力のほうではやっぱりなるべく補償は、縮小していきたい考えということから、毎年ちょっと更新については難航しているため、今回3年まとめてやっと支払っていただいているというような状況です。

○柳澤委員 今の質問に関連してなんですけれども、ちょっと私も最近たまたま自分でイノシシ関連の情報見てたもので、最近の調査結果ですと、放射線量自体はもうかなり減ってて、問題ないレベルになっている。ただその代わり豚風邪の影響で今販売ができなくなっているというふうには聞いてるんですが、それは事実でしょうか。

○坂本農林水産課長 ただ今の御質問で豚風邪につきましては、やはりイノシシのほうでも大分蔓延してるということは伺っておりますし、その血液結果も出ております。ただ、あくまでもまだイノシシについては、放射能の水準が高いので、土浦市のほうでは

毎年何度か検査して、まだ解除レベルではないということで、土浦市内においてはまだ解除とはなっておりません。以上でございます。

○福田委員 初歩的な質問ですいません。教えてください。14ページです、地方消費税交付金っていうのがあるんですけども、これ年間ですね、年間土浦市にこの地方消費税交付金というのが支給されるこの金額を指してるんですか。

○瀬古澤財政課長 はい、こちらはですね。消費税として事業者から納付されました交付金、消費税分の交付金につきまして、市町村により所定の割合で案分されまして毎年交付されるものでございます。

○竹内委員 毎回聞くんですが15ページで、生活保護費負担金増というのがあるんですが、これ去年も聞いたんですけど、これ何世帯で何人でしょう。もう生活保護どんどん増えてますけど。

○坂本社会福祉課長 今現在、令和6年度の1月末現在で報告させていただきますと、保護世帯のほう方が1,310世帯、人数のほう方が1,537人という形になってます。

○勝田委員 利子割交付金に関して、お伺いさせていただきます。利子割交付金の制度は分かるんですけど、1,299に対して減額が459.7ということで割合としてはかなり大きいんですけど、これ税制自体が何か変わったからなんですか。それとも社会情勢によりこれ利子に対する変わったのか。県のほうからの税金であると思うんですけど、どのように何て言うのかな分析されてますかね、もしお分かりになれば。

○瀬古澤財政課長 こちらの利子割交付金につきましては、今勝田議員からお話ありましたように、県のほうで算定表に基づきまして計算しているものなので、具体的にどういった理由で増減するのかっていうのは、なかなか掴みづらいところではあるんですが、こういった預貯金に対する利子等に課税されるものでございますので、例えばNISAとか非課税となっている、そういった貯金とか預貯金みたいなものが増えてきているというような状況で、そういったところが減になる要因の1つであるというようなところも考えられるかとは思っております。

○勝田委員 はい分かりましたありがとうございます。

○鈴木委員 多面的支払交付金だけ。これ土地改良区とかあの辺が使うお金だと思うんですけども、この減になった主な要因というのが、もう1回詳しく聞きたいんですけど。

○坂本農林水産課長 ただいまの御質問の多面的機能支払交付金についてなんですが、減額要因としましては、まず国からの内示額、多面的につきましては、集落での維持活動費、それともう一つは長寿命化事業の大きく分けて二つあるんですけども、集落での草刈などの維持管理につきましては、どの土地改良区分もほぼ満額でついておりますが、長寿命化事業のハード事業のほうで、国からの内示額が毎年大体70%前後しかいただけないことから、このように減額補正となっているものでございます。

○鈴木委員 長寿命化に使う場合は主にポンプとかそっち関係なのかな。

○坂本農林水産課長 水路の改修ですとか、あとはポンプとか機械等の設備更新とかに充当できる予算となっております。

○目黒委員 14ページの新型コロナウイルス感染症対策地方減税減収補填交付金で、

この交付される申請から実際に交付されるこの流れっていうのを説明いただけますでしょうか。

○瀬古澤財政課長 はい、こちらはですね、事業者等が新規の設備投資を行う場合にですね、こちら令和5年度までの設備投資につきましては、コロナ禍の間に非常に大変な中での設備投資ということで、こちらにつきましては固定資産税を3年間ゼロとする特例措置というようなことで、そちら事業者からの設備投資の申請等があった場合にですね、こちらを確認しまして、最終的には令和5年3月31日までに設備投資した事業者は3年間ということなので、令和8年度までが固定資産ゼロというような形になりますので、それ以降はこちらこの制度というものはないもので、現時点では令和6年度課税分は24件22事業所が対象となっているものでございます。

○平岡委員 16ページの16款国庫支出金、4項の国庫交付金の1の総務費国庫交付金の中で、地域女性活躍推進交付金の減とありますけど、これは土浦市の事業ではどれに該当するんですか。

○福原人権推進課長 ただいまの御質問でございますが、こちらの事業はですね、女性のための寄り添い支援事業、そちらとですね、女性デジタル人材育成セミナー、こちらの2事業が該当しております。以上でございます。

○平石委員長 その他ございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○平石委員長 それでは賛否を確認させていただきたいと思います。この予算の歳入、地方債補正について賛成とする方は挙手をお願いいたします。

(賛成：全員)

○平石委員長 ありがとうございます。全員賛成でございます。議案第40号の第1表歳入全部第5表地方債補正については、反対する委員の方はおりませんでした。それでは3月21日、今度金曜日の予算決算委員会全体会までに、委員長報告書をまとめてまいりたいと思いますが、この報告書の中に盛り込みたい事項などはございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○平石委員長 一任ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○平石委員長 ありがとうございます。それでは御意見もないようでございますので、最後に今後の予定だけ申し上げたいと思います。次回、予算決算委員会全体会は明日3月13日木曜日、午前10時からここ第1委員会室にて令和7年度予算の審査を行ってまいりたいと思います。それでは本日は慎重な審査をいただきまして誠にありがとうございました。これにて予算決算委員会を閉会いたします。大変お疲れ様でした。